
THE TEAM! (番外編) ~呼び捨ての理由~

緒俐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

THE TEAM！（番外編）～呼び捨ての理由～

【コード】

N7101D

【作者名】

緒俐

【あらすじ】

「どうして快だけ呼び捨て？」の疑問に翡翠はその理由を語りだす……

「ねえ、どうして翡翠は篠原君のことを呼び捨てにしてるわけ？」

昼休み、「カレカノいない同盟」は例のごとく翡翠を肴に、
相変わらずの会合を開いていた。

「どうしてって……どうしてだっけ？」

翡翠からクエッションマークが飛ぶ。

そして彼らの視線はその呼ばれている当事者に向くことになった。

「快君、どうして翡翠を呼び捨てにさせているわけ？」

「おい、あくまでも使役表現か……」

しかし、それが翡翠の記憶を呼び覚ました。

「あっ！ 思い出した！」

それは中学一年生だった夏の日のことである。

「ええっくく！！ 快ちゃんは快ちゃんていいじゃない！！」

「良くない！！ 今日から呼び捨てにしろ！！」

任務のときに毎回「ちゃん」付けされてたら相手になめられる！
「！」

今日の任務は最悪だった。

その分敵には大人気ない自分を見せてしまった。

骨折箇所も相手に与えたことはめつたにない。
それも翡翠が「快ちゃん」と呼んだ性で、
大人達に馬鹿にされてしまったからである。

「だいたい、俺はもう十二だ！

いつまでも子供じゃないんだよ！」

「まだおじ様達にお世話になっているうちは子供だって、

快ちゃんが自分で言ってたじゃない！！」

「それはそれだ！ 俺は隊長なんだから命令は絶対だろう！

それぐらいの命令はきけ！！」

「横暴だよ！！ もう絶対一生快ちゃんって呼んでやるんだから！

！」

結局口論でその日の任務は終わり、

数日間二人は一言も口をきかなかつた。

「TEAM」の大人達は、それを楽しみに見ていたという……

しかし、さすがに翔は心配になり、

「おいおい、お前ら一体どうしたんだ？

あんなに仲いい癖してよ」

「ほつとけ。大体翡翠がいつまで経っても、

「快ちゃん」呼ばわりするからいけないんだ」

中学一年生の癖してブラックコーヒーが旨いという快は、
やはりどこか大人びたところがある。

しかし、その発言は翔を笑わせるには充分だった。

「なんだ！ ただの独占欲かよ！！」

「なっ！！」

快は一気に真っ赤になった！
確かに翡翠が好きだという気持ちを、
目の前の悪友は知ってはいるが……

「そういうことか！ だったら翡翠も分かってくれる！
おい！！ 翡翠！！」

喧嘩中の少女を簡単に呼ぶこの悪友は、
本当に性格がいいのか悪いのか分からない。

「どうしたの翔ちゃん？」

きょとんとした顔をして翡翠は尋ねた。

「翡翠、今回はお前が折れてやれ。」

「快はただお前に呼び捨てにして欲しいだけだ」
「そうなの？」

賞の言うことなら絶対最後まで聞く。
翡翠は昔からそうだ。

「ああ。快もまだまだ子供だからよ、我俣言いたいだけなんだよ。
翡翠にもその気持ちは分かるだろう？」

「うんうん！！」
なぜか良いように丸めていつている気がするが、
快はここで口を挟んでもろくな事にはならないと
知っているので何も言わない。

「それにさ、呼び捨てにできるメリットも出てくるはずだ」
「メリット？」

「ああ、そのうち分かるよ。なっ、快！」

その話が終わり、同盟の面々は満足そうな顔をした。
翔の多少の演出がまた面白さを倍増させたのだ。

「そのとき確か快は顔真っ赤だったよね！」
「そうだな。まったく快はかっこつけの癖してどこかお子様……」

そのとき、教室に雷が放たれようとしていた。
快の魔法だ！

「いや、快、そこまで怒らなくても……」
「そうだよ、篠原君、ちょっと危ない……」

「カレカノいない同盟」の面々は教室の隅へと追い詰められていく。

「お前ら……」

ついに雷玉が出来上がった！

「一回地獄巡りに行って来い!!」
「うぎゃああああ!!!!」

しかし、この話には少しだけ続きがある。

「快、か」

「ん？ どうした？」

翔の問いに翡翠はにっこりして答えた。

「翔ちゃんの言ってたメリットが分かった。

ちよっとだけ恋人みたいな感じがするね！」

翡翠の恋はこの時から始まっていたのである……

(後書き)

ちよつと甘い恋のストーリーを書いてみたくなりましたのでやっちやいました！ 感想をいただけるとうれしいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7101d/>

THE TEAM！（番外編）～呼び捨ての理由～

2010年10月22日00時33分発行